

(第1次) 長野市自転車活用推進計画の結果について

計画期間：令和2年7月から令和7年3月まで

【基本方針1】
自転車を活用した
ライフスタイルの定着

【基本方針2】
自転車通行空間等の整備

【基本方針3】
安全に向けた啓発と
賠償責任保険加入の推進

【基本方針4】
自転車を活用した観光振興


自転車で「ながの」をさわ早爽と
～自然・健康・家計にやさしいまち～

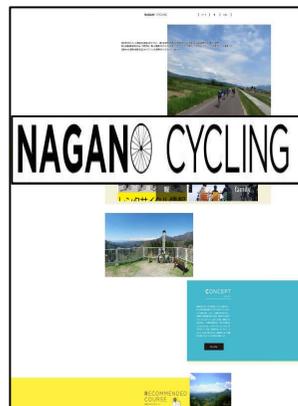
FEEL NAGANO, BE NATURAL

この街で、わたしらしく生きる。長野市

実績報告

施策1 健康増進・環境負荷低減につながる自転車の価値をPR

【Webサイトを利用した広報】



【ポスター等による広報啓発】



【エコ通勤の推進】 (中吊り広告の掲出)

施策2 自転車通勤等の促進



【バス交通結節点の駐輪場整備】



【鉄道駅周辺駐輪場の整備】



【庁舎駐輪場の整備】

評価と課題

- 当初の計画に従い、あらゆる媒体を活用し広報を行った。広報を紙ベースからWebサイトの活用へと広げることで、より幅広い年齢層に周知することができた。
- 公共交通に係る既存の駐輪場整備を順次進めることができた。
- 前例踏襲の広報になりやすく、広報の仕方に工夫が必要。
- 老朽化が進む駐輪場が多く、今後も引き続き計画的な整備が必要。

第2次計画へ

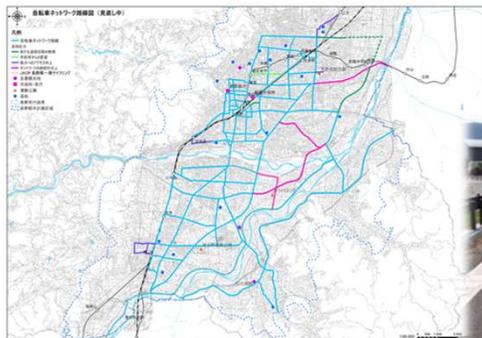


- ・ 広く情報を伝えるため、広報媒体にWebサイトやLINEの利用など活用方法をさらに広げていく。
- ・ 老朽化が進む駐輪場は引き続き、順次整備を行う。
- ・ 通勤通学での利用を促進するため、公共交通に係る新たな駐輪場や、サイクル&ライドのための駐輪スペースなどを検討する。

実績報告

施策3 通勤・通学路の重点的な整備

【自転車ネットワーク計画路線の整備】



【千曲川新道の整備】



【矢羽根型路面標示の整備】

施策4 目的やニーズに応じた駐輪場の整備

【照明LED化工事】



【長寿命化改修工事】

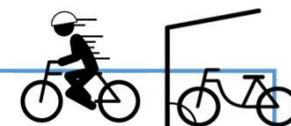


【サイクルスタンドの設置】

評価と課題

- 自転車ネットワーク計画の優先整備路線について、順次整備を行った。
- 駐輪場内へのサイクルスタンドの設置や、駐輪場のLED化工事を計画的に実施した。
- 駐輪意識は高まっており、駐輪場の認知度が上がった。
- 新たな整備路線の需要や未着手の路線があり、自転車ネットワーク計画を更新する必要がある。
- 新たな小型モビリティに合わせた駐輪場整備が必要。
- 一部駐輪場で乱雑な駐輪が見られる。

第2次計画へ



- ・自転車ネットワーク計画を更新し、新たに需要がある路線や第1次計画で未着手の路線を整備する。
- ・新たな小型モビリティに対応した駐輪場の整備を実施する。
- ・駐輪意識向上による駐輪需要の高まりを受け、適正な駐輪スペースが確保できるよう放置自転車対策を推進する。

実績報告

施策5 段階的な交通安全教育の推進

【腹話術を使った交通安全教室（老人クラブ）】



【体験型交通安全教室】



施策6 自転車の交通安全に関する広報啓発活動の推進

【自転車用ヘルメット購入費補助実施】



【街頭啓発活動】

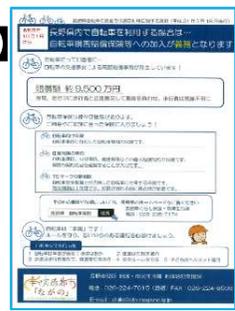


施策7 点検整備・自転車保険の加入促進など安全通行の確保

【ポスター配布】



【交通安全教室での啓発】



施策8 災害時における自転車の活用推進

【「長野市地域防災計画」へ
庁用自転車等の活用を位置付け】



評価と課題

- 世代に応じた交通安全教室や、関係機関と協力した街頭啓発活動など、計画的に実施した。
- メディアやポスター等を活用した広報啓発を行った。
- 第1次計画期間中の全ての年で自転車が関連する事故件数が目標値を下回ることができた。
- 自転車利用に関する新しい交通ルールを、市民にわかりやすく広報することが必要。
- 引き続き、世代に応じた交通安全教室を実施していく必要がある。

第2次計画へ

- ・引き続き世代に応じた交通安全教室の実施や、街頭啓発活動などを実施する。
- ・電動キックボード等新たなモビリティに対応した安全対策を周知する。
- ・自転車に関する新しい交通ルールを市民に分かりやすく広報する。



実績報告

施策9 自転車走行環境・サイクリスト受け入れ環境の整備

【Eバイクによるレンタサイクルの導入】



【観光施設へのサイクルスタンドの設置】

施策10 サイクリングコースの提案等による、サイクルツーリズムの推進

【サイクリングモデルコースの造成】



【サイクルツーリズム公式ホームページを利用した広報】

評価と課題

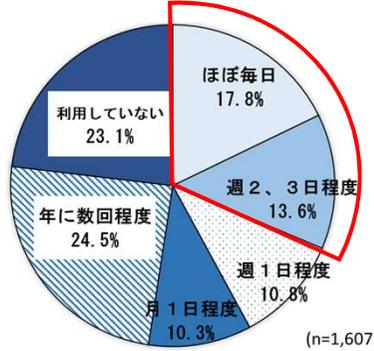
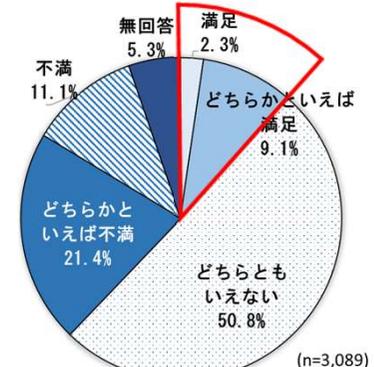
- サイクルツーリズム公式ホームページを活用した広報を実施した。
- 自転車利用者のレベルに合わせたサイクリングコースを造成した。
- Eバイクによるレンタサイクルの導入し、一定の利用実績が得られた。
- 自転車の観光目的での利用のほかに、健康増進のためのスポーツを目的とした利用もあわせて推進していく必要がある。

第2次計画へ



- ・自転車利用者が利用しやすいWebを活用した情報発信を行う。
- ・サイクルツーリズムとしての観光目的に加え、サイクリングスポーツなど健康を意識した自転車利用をあわせて推進する。
- ・各観光協会で実施する事業を含め、Eバイクによるレンタサイクル事業を引き続き推進する。

2 目標値に対する結果

基本方針	指標	目標値	最終値
<p>1 自転車を活用した ライフスタイルの定着</p>	<p>自転車を日常的に(週2、3日程度以上)利用する人</p> <p>令和元年度「自転車の利用に関するアンケート」より 令和元年度値 45.1%</p>	<p>(アンケート指標) 市民の50%以上</p>	<p>令和5年度「まちづくりアンケート」より 市民の31.4%</p>  <p>(n=1,607)</p>
<p>2 自転車通行空間等の 整備</p>	<p>自転車ネットワーク路線における優先整備路線の整備率</p> <p>計画策定時 整備済延長 13.3km 整備率 35.1%</p>	<p>優先整備路線 37.9km 整備率 100%</p>	<p>令和6年度末 優先整備路線整備済延長 29.6km 整備率 78.1%</p>
<p>3 安全に向けた啓発と 賠償責任保険加入の推進</p>	<p>自転車に関係する事故件数</p> <p>令和元年 235件/年</p>	<p>令和元年の15%減</p>	<p>事故件数 令和6年12月末 176件/年 25.1%減</p>
<p>4 自転車を活用した 観光振興</p>	<p>自転車の総合的な使いやすさを「満足」と感じる人</p> <p>令和元年度「自転車の利用に関するアンケート」より 令和元年度値 9.4%</p>	<p>(アンケート指標) 市民の30%以上</p>	<p>令和5年度「まちづくりアンケート」より 市民の11.4%</p>  <p>(n=3,089)</p>